

多久

TAKU



西浜校

中央校

東部校

各学校の体育祭

議会だより

平成28年
6月定例会
第29号

目次 contents

主な議案 ▶ P2
議案質疑 ▶ P3
審査報告 ▶ P3

一般質問 ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ P5
議会活動報告・議決結果 ▶ P10

主な議事日程

6月 10日	開会・提案理由説明 2議案採決
13～15日	議案研究
16日	議案質疑
17日	委員会審査
20～22日	一般質問
24・27日	討論・採決・閉会
28日	討論・採決・閉会

平成28年6月市議会定例会は6月10日～28日まで（会期19日間）開かれました。

今回は9人の議員が市政一般に対する質問を行いました。
また、市長から提出されました議案11件（条例3件、予算5件、その他3件）の議案について審議し、いずれも原案どおり可決されました。

主な議案

平成28年度多久市一般会計補正予算

旧ゆづらく施設の無償貸付

旧ゆづらくの土地建物及び土地に附属する構築物を株式会社長崎環境美化、代表取締役 奥野良功に無償で貸し付ける事に議決をおこなった。
今年2月から旧ゆづらくの民間での活用について公募をおこない、5月に3社からプレゼンテーションを行って頂き株式会社長崎環境美化に優先交渉権者として選定された。
これから一年を掛け旧ゆづらく施設の改修を行い平成29年10月に引き渡しを行う予定で進められています。



さが未来スイッチ交付金事業

新日本歩く道紀行100選に選ばれた「龍孫の郷 肥前多久・聖学華開き文教の風薫る城下散歩道」を活用する事業を実施する為にウォーキングコース整備やイベントが開催されます。
923万4000円

コミュニティ助成事業

一般コミュニティ事業 2件
①西子区の太鼓浮立備品整備 190万円



②泉町区の放送設備等コミュニティ活動備品整備 250万円



コミュニティセンター助成事業 1件
①栄町区のコミュニティセンター建設助成 1080万円

活力ある地域づくり助成事業 1件
①平野棚田米実行委員会へ保冷庫・精米機・イベント費用助成 130万円



請願・陳情・要望など

▽食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書

議案質疑／審査報告

議案質疑



甲案第27号
財産の無償貸し付けについて

野北 悟

質問 10年間の継続運営できなかった場合の対応は。

答弁 10年未満で撤退した場合は、協定書の中で違約金を請求できることになっています。

質問 市内全体に波及効果が無ければ意味がないと考えるが。

答弁 観光宿泊施設を整備して雇用の創出を行うとともに、市内の観光資源を生かし地産地消を進め経済の活性化を図るなど、この施設再開が起爆剤となって地方創生実現の柱にしていきたいと考えています。

乙案第24号
平成28年度多久市一般会計補正予算(第1号)

平間 智治

学校跡地あと施設対策に要する経費について

質問 旧西部小学校整備事業費3億5881万円の財源組み換えの理由は何か。

答弁 人工芝の新設と夜間照明施設の設置については、toto助成金の対象であり、交付内定通知を受けため地域スポーツ施設整備助成金として5440万円を計上しています。



野北 悟

さが未来スイッチ交付金事業について

質問 事業内容と目的は何か。

答弁 平成27年度に新日本歩く道紀行100選に選ばれた「龍孫の郷肥前多久・聖学華開き文教の風薫る城下散歩道」を活用する事業で、古地図で歩く多久城下町として今後、看板の設置やパンフレットの作成、イベントなどを行い観光振興を図っていきます。

英語教育研究事業について

質問 研究事業を行う目的と効果は。

答弁 小学校の先生方の英語教育に係る指導力を向上させることにより、児童生徒の英語力の向上を狙っています。



予算特別委員会 審査報告



平成28年度多久市一般会計
補正予算(第1号)

補正額は、歳入歳出3230万8000円の増額で、平成28年度の歳入歳出予算の総額は130億5230万8000円となります。

歳出の主な事業として

▼総務費

新日本歩く道紀行100選「龍孫の郷 肥前多久・聖学華開き文教の風薫る城下散歩道」を活用するためのさが未来スイッチ交付金事業、宝くじ収益コミュニティ助成事業による栄町区のコミュニティセンター建設助成、西子区太鼓浮立備品整備、泉町区放送設備等コミュニティ活動備品整備、平野棚田米田植え稲刈り等体験実行委員会への助成金。

▼教育費

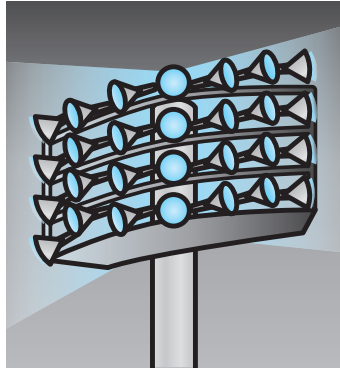
小中接続を意識した教員の英語指導力向上・児童生徒の英語力向上を目指す英語教育研究事業、補充学習を行う放課後等補充学習支援事業が

計上されています。

▼歳入予算

旧西部小学校跡地多目的グラウンド整備工事の人工芝生化及び屋外照明設備に対して、地域スポーツ施設整備助成金が計上されています。

なお、審査の過程で龍孫の郷散歩道整備事業での学校への周知、ワーフシヨップ等の積極的な活用。また、英語教育研究事業では、英語に触れる時間増等のシステム作りを推進してもらいたいとの意見もありました。

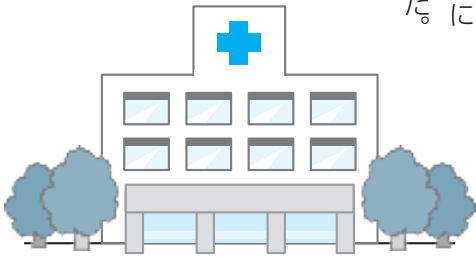


平成28年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

補正額は、平成30年度から始まる国保事業の都道府県広域化へ移行に伴い、新たな運用システムを構築するため、今年度事業として、県が今年10月から行う国保事業費納付金等算定標準システムの市町村連係テストまでに、被保険者情報や所得・賦課情報等をデータ提供する市町村国保のシステム改修をするためのものです。

歳入は、国庫補助金、歳出はシステム改修委託料であり、歳入歳出40万2000円となります。

以上、2議案について慎重に審査した結果、全会一致で原案どおり承認することに決定しました。



産業厚生委員会 審査報告



財産の無償貸付について

本議案は、「旧ゆーらく施設」の土地建物及び土地に附属する構築物等は無償で貸し付けるもので、地方自治法第96条第1項第6号の規定に基づき、審査を行いました。

多久市では、少子・高齢化が進む中、人口減少対策、雇用の創出、定住、市内経済の活性化、交流人口の増加対策など政策課題の解決を図るために「旧ゆーらく施設」を市が改修し、運営については民間活力の導入により、再開する方針を決定しました。

今年2月18日から公募を開始し、4月28日までに事業提案書が3社より提出されました。5月17日に3社によるプレゼンテーションを行い、優先交渉権者を選定し、仮契約についての詳細協議を重ねた結果、長崎県長崎市住吉町15番17号、株式会社長崎環境美化、代表取締役奥野良功（おくのよしかつ）と仮契約を締結されています。

本議案を審査するにあたり、わがまち創生特別委員会、跡地利活用特別委員会との関連があることから連合審査会で行いました。

審査の中では、10年以上の運営をする信頼性はあるのか、途中でやめたりした場合の対応は、また、設備などの現状復帰をどうするのかなど、様々な意見が出され、慎重に審査したのちに、本委員会で採決を行った結果、賛成多数で承認いたしました。



6月定例会では9名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。

なお、未掲載の質問などは定例会のインターネット動画配信でもご覧いただけますので、多久市議会のホームページにアクセスしてください。

市政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、市長などに方針を問うものです。

多久北部工業団地・相ノ浦工区について



國信好永

國信 経過については。

答弁 平成3年3月に土地開発公社

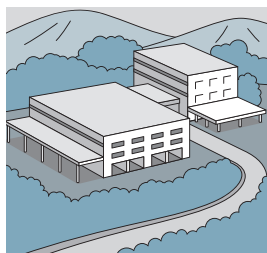
を設立し、平成4年4月から用地の買収を開始、平成6年4月に大規模開発許可、農地転用許可を受け平成6年7月に造成を開始し、平成9年3月に全工区の造成を完了し、相ノ浦工区については、用地費、補償費、測量設計費、工事費を合わせて計23億8454万5000円です。

現在相ノ浦工区については4社操業をされており、従業員数は全体で225名の方が仕事をされておりその中で多久市の方は26%で59名です。

國信 残りロットへの企業誘致は。

答弁 今月は5件の視察等がある予定で、早期

の誘致実現に向けて努力をしていきたいと、関係職員一丸となって取り組んでおります。



ふるさと納税について

國信 現状と実績は。

答弁 昨年度からは、寄附金額に応じた特産品のお返しやクレジット納付の導入などを行い、平成27年度のふるさと応援寄附は、総額が9495万8000円で寄附件数が6604件となっております。

お礼状については、聖廟と孔子像の透かしを入れた和紙でお礼の文章を書いたものを全ての皆様に送付しており、寄附の金額コースは、7つのコースを設定しています。

國信 寄附金の活用状況は。

答弁 寄附者により次の大きく5つの分野から選んでいただいています。

1つ目が、子どもたちのための事業、2つ目に豊かな自然を守るための事業、3つ目が文化スポーツ振興のための事業、4つ目がまちづくりのための事業、そして5つ目にその他市長が必要と認める事業、この5つの指定の中から選択をいただき、活用に使っているところです。





飯守 康洋

教育行政に関して

飯守 教育長が目指す教育とは。

答弁 重点目標につきましては、自己肯定感に満ちた子を実現させるために、まず、外部識者のお力を生かし、一層いじめや不登校の発生を未然に防ぐ手だてを強化したいと考えています。1つは、専門家を交えた

多久市いじめ問題行動等対策委員会の継続と深化です。あと1つは、健康増進課、家庭児童相談員、主任児童委員、民生委員等を交えたケース会議の実践と継続です。また、そのネットワークを生かし、子どもの貧困問題等にも敏感に反応し、細やかな心配りを考えています。

またコミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育やふるさと教育の推進を図り、子ども

たちの声が響き、笑顔が見えることを目標にしたいと考えています。

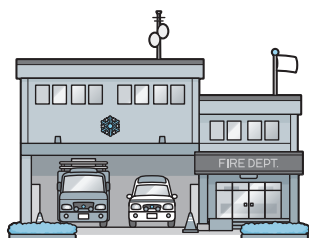


防災・危機管理に関して

飯守 多久消防署南西出張所(仮称)について。

答弁 広域消防運営計画をうけ、平成24年4月から南多久町から西多久町を網羅できる場所を基準に選定を進め、候補地を定め、用地取得等の手続を開始しました。これに対し西多久町区長会より西多久町内の建設要望が提出され、理解を得られず候補地での建設を撤回しました。平成27年4月に再度地域の要請を受け、広域消防局と協議を進める中で、広域消防運営計画が策定をされた平成24年1月以降、救急救命または消防を取り巻く環境なども変化をしており、ポンプ車と救急車の連携による2隊での出動が大変ふえている状況です。

仮に出張所が建設され、多久消防署の3隊のうちの1隊が出張所へ配置となりますと、多久消防署は2隊となりますことから、その影響についても慎重に検討、分析をする必要があると考えています。



中島 國孝

学校給食について

中島 学校給食における食物アレルギーの子どもに対する状況と取り組みについて。

答弁 平成20年に学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドラインが制定されており、これに基づく取り組みを行っています。また、平成27年に文部科学省より学校給食に

おける食物アレルギー対応指針が示されました。食物アレルギーの児童・生徒に対する学校給食の対応については、原因食材を含む献立は提供せず、安全な献立を提供しているケースが小学部で5名、中学部で2名あります。また、アレルギーの原因物質が複数あり給食対応が難しく、保護者との協議により全食当対応を実施しているケースが小学部に2名あります。給食の食材を選ぶ際には、なるべくアレルギーの原因物質が含まれない食材確認を行い、原因食材が入らないよう工夫し、配膳時は間違いが起こらないよう学校も協力して実施しております。危機管理に関しては、県教委学校教育課保健体育室より、食物アレルギー緊急対応マニュアルが出されており、それをもとに研修を行っています。また、今の施設でどこまで対応できるのか人員の確保や施設を探っていきます。



【その他の質問】

▼新日本歩く道紀行100選「龍孫の郷 肥前多久・聖学華開き文教の風薫る城下散歩道」の取り組みについて。

▼中国メディアの来佐ツアー(多久市訪問)の対応について。



平間 智治

観光振興戦略について

平間 多久市観光振興の現状は。

答弁 観光振興協議会(観光地部会、イベント部会、名物料理・土産品部会)において、各団体や事業所と情報共有し、具体的な取り組みについて会議を開き協議を行っています。

平間 観光関連組織(観光協会、孔子の里、郷土資料館、たぐ21など)の職員の待遇が、現状の補助金頼みの単年度採用では、専門性を持った人材の確保及び育成ができないと思うが、今後どう取り組んでいくのか。

答弁 ささまざまな補助事業を活用しながら、継続的に事業を強化するということ趣旨を重んじれば、改善などの検討が必要だと思いますので関係部署とも意見交換をしているところです。

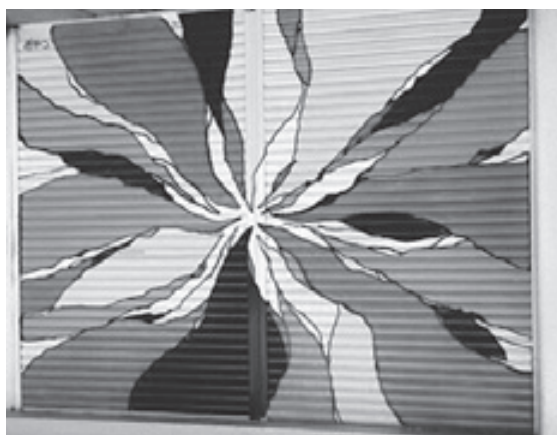
平間 多久の認知度アップ・多久ブランド強化のため、吉田松陰と松下村塾が結びついて観光客が増えるように、多久聖廟だけではなく、東原庫舎と、そこから輩出した志田林三郎など、偉人を結びつけた取り組みが大事だと思います。小城市牛津町では、玉屋創業者田中丸善蔵・天才石

工、平川与四右衛門という2人の郷土の偉人を、1年がかりで国の地方創生補助事業を使って住民を巻き込んだ、映画「二つの巨星」の撮影を始めていますが、多久市の取り組みは。

答弁 著名な多久の偉人、先覚者がおられますので、生涯学習課とも連携しながら、偉人の方々を活用した観光を考えていきたいと思っています。

【その他の質問】

▼多久在住の若者芸術家との連携、県外・海外からの集客、広域観光周遊ルートの形成・発信、スパリゾート「ゆづらく」との連携・活用について。



野北 悟

小中合同の学校行事について

野北 義務教育学校に移行するにあたり小学校の卒業式は行わないとの通達があっているが、保護者の理解は得られているか。

答弁 学校のPTA育友会、市のPTA総会など教育委員会として積極的に参加させていただき、多久市の教育の在り方について説明させていただきます。

野北 現在、東部・西溪校では体育大会も小中合同で行われています。来年度からは中央校でも合同で行う通達があったようだが市教育委員会の方針なのか。

答弁 教育委員会の考えの中に小中一貫教育の特色として合同行事があり、それは目指していきたい。来年度については、保護者や地域の声に耳を傾け学校が判断いたします。

中学校の部活動について

野北 生徒数の減少等により、単独での維持が難しくなっているが今後の対応は。

答弁 団体競技では、他校との合同チームを結成し、大会出場する対応をしています。平成27年度より3年後をめどに校長会でも議論しておりますが、専門家や経験者の方々の知恵をお借りしながら意見集約していきたいと考えています。



継続して使用する施設についての考えは

野北 例えば、北多久運動広場は住宅地が隣接しており、周辺住民への配慮として場外に飛び出すボールについて一定の対策が必要ですが、市の考えは。

答弁 幸い大きな事故はあっていませんが、瓦が割れたりしています。何らかの対処が必要だと考えています。



中島 慶子

教育行政について

中島 「多久学」の内容と目的は。

答弁 論語カルタ・論語教育に取り組み、全員が論語検定初級以上を取得。また、副読本を活用し、多久の賢人、歴史・文化・産業などを学ぶ時間を設定、「特色ある教育」として全国へ発信しています。

中島 教職員の市内在住%や多忙化対策など職場環境は。

答弁 ①全体の13・5%が市在住。隣接で60分を超えない程度での通勤。多忙化対策会議を行い、実態や解決策を探っています。②小と中の先生方が常に協力し合える環境、システムの構築を図っています。



地域防災・減災について

中島 市内の土砂災害防止法の指定件数は。

答弁 土砂災害警戒区域が510、このうち特別警戒区域が460箇所、82行政区にかかっています。

中島 土石流・地すべり・急傾斜崩壊等、危険箇所の数と対策は。

答弁 土石流危険渓流箇所174、地すべり危険箇所28、急傾斜地崩壊危険箇所239、このほか、農林水産省指定の地すべり危険箇所が9箇所。対策は、砂防堰堤。また、地下集水井戸を掘り地すべりを回避する方式や横穴ボーリング等の実施により、着実に安全を確保していきたいと思っています。

中島 市内全区で自主防災組織と共に避難経路を含めた防災講座とハザードマップの作成を。

答弁 地区での開催を区長さん呼びかけています。また、ハザードマップはブック形式でまとめ、全世帯配布で現在検討しています。

中島 多久町岡地区砂防堰堤建設の要望について。

答弁 昨年9月に佐賀土木事務所長へ要望書を提出し、採択に厳しい回答があったが、今後も県と連携をしながら実施に向けて頑張っていきます。



古賀 公彦

生活困窮者について

古賀 生活困窮者自立支援法が施行され、相談窓口を開設されていますが、年間の相談件数と相談内容は。

答弁 相談件数は200件、新規相談者数は49人、その中で事業利用申込者が18人、新規就労者は3人となっています。ご本人からの直接の相談が約49%、ご家族からの相談が約5・5%、関係機関から関係機関へのつなぎという形のが約25・5%、また、医療機関やNPO法人などの関係する機関からのつなぎが約7%、民生委員や住民などの地域



からのつなぎという形態が13%となっている現状です。相談内容内訳は、仕事に関することが17・1%、生活に関することが20・2%、健康面に関することが10・7%、人間関係などが4・4%、家族にすることが11・5%、お金に関することが21・7%、その他15・1%という現状になっています。また、住宅確保給付金につきましては、1世帯に対し給付を行いました。

古賀 相談周知の啓発活動は。

答弁 生活自立支援センター作成の生活困窮者自立支援制度に関するチラシを作成し、全戸配布を1回、同チラシ及び県作成のパンフレットを各関係機関や市の窓口などに配布もしており、社協だよりの中でも相談、制度などの説明を行っています。また、民生委員の方に対し、状況報告及び制度のPR、市民便利帳での紹介も行っています。

古賀 子どもの困窮者への教育や困窮者の就労の支援は。

答弁 教育支援については、今のところ行っていません。就労支援については、子どもに対する部分はありませんが、直接、困窮者に対して就労支援として、生活保護受給者等就労自立促進事業において対応しています。



田 淵 厚

防災対策について

田淵 土砂災害警戒区域について。

答弁 土砂災害警戒区域の指定作業が平成27年10月に完了し、警戒区域における避難体制等について説明を実施しました。

田淵 中山間地域の農地荒廃と土砂災害について。

答弁 農地台帳の面積のうち約12%の251haが荒廃農地。農地は農業用だけでなく、保水・治水機能もあるため、補助事業を活用しながら荒廃農地の解消に取り組んでいます。

田淵 平成27年度土砂災害警戒区域指定作業後のハザードマップ作成について。

答弁 洪水と土砂災害を合わせた統合型のハザードマップ作成に向けて現在検討を行っています。

田淵 避難場所、避難所の安全について。

答弁 納所地区では浸水想定区域と土砂災害の警戒区域がともに存在し、指定避難所である納所会館、旧納所小学校、いずれも指定区域ですが、現段階では土砂災害警戒情報に

基づく避難場所として鉄筋コンクリート造りの納所交流センター（旧納所小学校）に避難していただきたい。

田淵 情報収集と伝達について。

答弁 情報の収集には県、佐賀地方気象台、国土交通省武雄河川事務所など、関係機関と連携。情報の伝達には防災行政無線のほか、ホームページ、防災メール、エリアメール、ケーブルテレビのＬ字放送。あわせて避難勧告などの重要な情報は自主防災組織へ連絡します。

田淵 災害に対する地域力と地域のきずなについて。

答弁 隣近所の助け合い、共助の中核的な役割を持ち地域住民を支える地域の基盤となっているのが自主防災組織。今後も訓練などを通じ、組織力向上を図っていききたいと考えています。



香 月 正 則

人口減少対策について

香月 人口減少は全国的な問題であるが市としての取り組みや課題は。

答弁 市としても、人口減少社会における更なる対応や行政運営のあり方について、国、県及び関係機関の調査報告、また、当市における自然動態、社会動態の動向を踏まえ、引き続きまち・ひと・しごと創生の取り組みを進めてまいりたいと考えています。

香月 若年層の安定雇用を進めることにより結婚や出生数が上がると考え若年層の新規雇用について現在の企業への奨励制度を更に充実できないか。また、市内企業へ新規事業や開発等の経営支援をし企業が育てば雇用を生み出すのでは。

答弁 事業所等の移設や増設する場合については雇用奨励金の対象となっておりませんが、それ以外については今のところありません。

香月 市として自然動態対策で健康増進に取り組みられていますが、スポーツピアや一般企業の健康増進の事業等をされている企業にアウト

ソーシングしてみても。

答弁 以前スポーツピアと連携し体操などの運動を行いました人があまり集まらなかったことから、もう一回研究をしていきたいと思っています。

香月 本市の各種取り組みについてのPR活動はどのようにされているのか。

答弁 PRについては、市のホームページや、行政放等のほか、新聞、情報誌などの広告媒体や移住フェア等イベントでの周知、またパンフを保育園へ配布、市内誘致企業、飲食店などにも置いて貰っています。

香月 県内の企業にはこれから結婚や自宅の購入等を検討されている社員もいらっしゃると思うのでPR活動の一番のターゲットとしていいのでは。

答弁 県内企業への広報活動が可能かどうかは研究したいと考えております。

香月 交流人口の増加対策で多くのグループの皆さんが取り組みをされているのでバックアップや、タイアップをお願いしたい。



議会活動報告



多久市高齢者スポーツ大会 (5/20・多久市体育センター)



多久市少年の主張 (6/18・多久市中央公民館)



子ども子育てセンター建設安全祈願祭 (6/23・旧北部小学校)



多久市障害者スポーツ大会 (6/5・多久市体育センター)

議案番号

議決結果 賛否表

議 案 名

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果
野口義光	飯守康洋	野北悟	服部奈津美	國信好永	田中英行	中島慶子	樺島永二郎	香月正則	中島國厚	田淵一彦	角田公彦	古賀智治	平間和廣	牛島茂雄	山本	

6 月 定 例 会

※議案等について、賛成、反対の双方あった場合のみ、掲載しています。

意見書第1号 食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書

○ ○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ 原案可決

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 退は退席

委員
野北悟
樺島永二郎
服部奈津美
委員
香月正則
田淵厚
副委員長
野口義光

議会広報委員会



議会のはなし

政治家からの寄附禁止について

選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。

例 病気見舞い／祭りへの寄附や差入れ／地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入れ／結婚祝、香典(政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合がある)／落成式、開店祝の花輪、葬式の花輪、供花／町内会の集会や旅行等の催物への寸志や飲食物の差入れ／入学祝、卒業祝、お中元、お歳暮